

能代河川国道事務所ニュース

〒016-0121 能代市鰯淵字一本柳97-1

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/>

TEL 0185-70-1176 FAX 0185-70-1141

E-mail thr-noshiro01@mlit.go.jp

定期的に事務所管内のニュースをお伝えします

発行者：国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所

【支所・出張所】

森吉山ダム / ニツ井(河) / 鷹巣(河) /
大館国道 / 能代国道維持

ニツ井今泉道路事業を

能代市長が視察しました。

2月12日(水)、令和5年度の開通を目指すニツ井今泉道路の小繋トンネルをはじめとした日沿道に係わる事業の進捗状況を、齊藤能代市長ほかが視察しました。

視察では、掘削作業を進めている小繋トンネルにおいて異なる岩質や断層破碎帯の存在など、難しい施工条件で進めている状況などを確認。その後、ニツ井今泉道路事業の他の箇所と能代地区線形改良事業を視察し、日沿道全線開通へ向けた事業の進捗状況を確認いただきました。



小繋トンネル工事
事業説明を受ける齊藤能代市長



能代地区線形改良事業視察



実際に掘削した岩石を手に取り
異なる性質を確認

市民まちづくりフォーラム

ー日本風景街道を通して私たちにできることー

2月18日(火)にのしろ白神ネットワーク主催の「第14回のしろ市民まちづくりフォーラム」が能代市旧料亭金勇にて開催されました。「木の香る道づくり」に取り組むのしろ白神ネットワークでは、「県内外の先進事例や専門家の知見を共に学び、民学官連携のまちづくりを進めるために出来ることを考える」を目的に、平成19年からのしろ市民まちづくりフォーラムを開催しています。今回のフォーラムでは、「日本風景街道による地域みがきと地域づくり」をテーマに議論を深めました。

地域活性化に向け、それぞれの地域が属性を活かした取り組みをすること、道の駅だけでなく周辺施設や地域との連携を図る必要がある、などの意見が出され、具体的な取り組み事例として、外国人観光客向けにパンフレットを多言語化した例などがあげられました。

[フォーラムの詳細はこちら](#)





秋田県北地域の今後の地域展開について、 意見交換会が開催されました。



秋田県北地域の今後の展開について意見交換を行う「第9回 秋田県北地域の今後の地域展開に関する意見交換会」が2月13日（木）に北秋田市交流センターで開催されました。意見交換会には、能代市長、北秋田市長、大館市長のほか、商工会議所会頭が出席され、日本海沿岸東北自動車道の整備進展を活かした新たな取り組みなどについて意見を交わしました。

日沿道開通の効果として、県内で収穫した食材を大館能代空港から首都圏へ出荷していること、市内の企業では新規雇用人数が増えたこと、イベントの集客数が増加したことがあげられました。

今後の目標としては、人口が減少している中で、地産地消だけではなく外へ売り込む地産外商の考えを持つこと、能代市、北秋田市、大館市が更に連携すること、などの意見が出されました。

森吉山ダムを中心とした地域活性化に向けて 協議会が開催されました。

2月14日（金）に北秋田市民ふれあいプラザ コムコムにおいて、森吉山ダム水源地域の活性化について意見交換会を行う「第9回 森吉山ダム水源地域活性協議会」が開催されました。

森吉山ダム周辺の豊かな自然環境、歴史、文化、観光資源、人材等の地域資源を活用し、水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための行動計画「森吉山ダム水源地域ビジョン」が平成23年3月に策定され、地域住民・行政・活動団体等からなる「実行委員会」による地域活性化の取り組みがダム完成後も継続的に行なわれております。当協議会は、実行委員会の報告を受け、今後の活動・支援・地域連携等について意見交換を行うものです。

今回の協議会では、1年間の活動報告のほか、今回から新たに会員となった登山ガイドの大川さんから森吉山ダムの登山に関する情報が報告されました。



— 次回予告 —

- 🌸 防災道の駅の勉強会
- 🌸 所内業務報告会
- 🌸 能代ハイパス黒松友の会総会

— 編集後記 —

今号は、「意見交換会」「水源地域活性協議会」「まちづくりフォーラム」「現場視察」を記事に取り上げました。今回の事務所ニュースを作成するにあたって、初めて協議会やフォーラムに参加しました。どのようにして地域と関わっていくか、地域を活性化させるかという課題がより身近に感じられ、自分も市民の1人として積極的に何かができることを考え、取り組んでいきたいと感じました。

【第970号編集 工務第二課】